

# 平成29年上半期火災・救急・救助概要（概数）

小松市消防本部

## 火災概要

平成29年上半期(1月～6月)の出火件数は7件で、前年同時期に比べ2件増加しました。  
 建物火災は4件で、前年同時期に比べ1件増加し、そのうち住宅火災(専用住宅、共同住宅及び併用住宅)は3件で、増減はありませんでした。  
 また、火災による死傷者は2人(死者2人)で、65歳以上の高齢者はいませんでした。  
 出火原因別でみると、「たばこ」が4件で最も多い出火原因となっています。  
 損害額は8,347千円で、前年同時期に比べ8,875千円減少しています。

区分		年	平成29年	平成28年	増減
火災件数	合計		7	5	2
	建物火災		4	3	1
	林野火災				0
	車両火災		2	1	1
	船舶火災				0
	航空機火災				0
	その他火災		1	1	0
焼損棟数			6	3	3
り災世帯数			3	2	1
面焼積損	建物床面積 (㎡)		324	183	141
	建物表面積 (㎡)			1	▲ 1
	林野 (a)				0
損害額 (千円別)	合計		8,347	17,222	▲ 8,875
	建物	建物	7,872	16,759	▲ 8,887
		収容物	295	206	89
	林野				0
	車両		176	257	▲ 81
	その他		4		4
死者数			2	1	1
負傷者数					0
火災発生間隔日数(日)			25.9	36.4	▲ 10.5
焼火損元 程度建物	全焼		3	1	2
	半焼		1	1	0
	部分焼				0
	ぼや			1	▲ 1
住宅用火災警報器設置件数 ( )は住宅火災件数			0(3)	2(3)	

## 救急概要

平成29年上半年(1月～6月)の救急出動件数は1,925件で、前年同時期に比べ116件増加しました。

1日平均すると11件の出動となり、10年前の同時期に比べ約30.4%増加しています。

全体の搬送者のうち、約61.1%が高齢者です。

搬送人員は1,830人で、小松市民の約59人に1人が利用したことになります。搬送した傷病者のうち約47.5%は軽症者でした。

区分		年	平成29年	平成28年	増減
救急出動件数	合計		1,925	1,809	116
	急病		1,197	1,087	110
	交通事故		203	203	0
	一般負傷		294	280	14
	転院搬送		162	179	▲ 17
	上記以外		69	60	9
救急搬送人員	合計		1,830	1,732	98
	急病		1,132	1,035	97
	交通事故		202	210	▲ 8
	一般負傷		287	266	21
	転院搬送		161	179	▲ 18
	上記以外		48	42	6
傷病者年齢別	高齢者		1,119	1,049	70
	成人		548	541	7
	少年		74	71	3
	乳幼児		89	71	18
	新生児		0	0	0
傷病程度別	死亡		65	37	28
	重症		263	248	15
	中等症		633	654	▲ 21
	軽症		869	793	76
	その他		0	0	0

## 救助概要

平成29年上半年(1月～6月)の救助出動件数は33件で、前年同時期に比べ2件減少しています。出動の約6割は交通事故によるものです。

救助活動件数は18件、救助人員は19人と前年同時期に比べ僅かに減少しました。

区分		年	平成29年	平成28年	増減
出動件数			33	35	▲ 2
活動件数			18	21	▲ 3
救助人員			19	21	▲ 2